

世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような資料情報をご紹介します。



里親制度

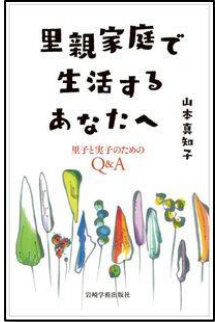
最近の新聞記事から

「自立支援「22歳の壁」撤廃 施設の子や里子、改正法成立」(朝日新聞 2022年6月9日) 朝刊1面

「里親なじめず 委託解除 子の問題行動や養育難」(読売新聞 2022年2月24日) 朝刊29面

里親制度とは、様々な事情で家族と離れて暮らす子どもを、自分の家庭に迎え入れ養育する制度です。厚生労働省の調査では令和3年度末現在、国内で親と離れて暮らす子どもが約4万2千人います。そのうち里親家庭等で暮らす子どもは2割に届きません。また、里親や養護施設を離れた子ども(ケアリーバー)が、その後生活苦に陥ることも多いといった課題もあります。児童福祉法の一部を改正する法律案がこの6月に成立し、年齢要件が撤廃されたことで、子どもへの支援が継続的に行えるようになります(施行は令和6年4月1日)。里親制度について改めて知るための情報源を集めました。

書名・記事名	出版情報・サイト情報等	
<p>社会的養護</p>	<p>厚生労働省 Web 情報</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/syakaiteki_yougo/index.html</p>	
<p>「社会的養護」とは、保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うこと。その一つである里親制度についても、指針やガイドライン、関連する調査研究報告書等を掲載する。</p>		
<p>家庭養護のしくみと権利擁護 シリーズみんなで育てる家庭養護 里親・ファミリーホーム・養子縁組 1</p>	<p>相沢仁編集代表 明石書店 2021 図書</p> <p>中央：36943/57/1</p>	
<p>本シリーズは、家庭養護を担う人とそれを支援する関係者向けの総合的かつ実践的な全5巻のテキスト。第1巻では、家庭養護のしくみの全体像について、子どもの権利擁護という観点から説明する。歴史的変遷から現状と課題、今後の方向性を解説する概論的な内容。巻末には法律や統計などの基本的な資料と、都道府県での取り組みなどを付す。</p>		
<p>里親制度の史的展開と課題 社会的養護における位置づけと養育実態</p>	<p>貴田美鈴著 勁草書房 2019 図書</p> <p>中央：36943/53</p>	
<p>欧米諸国と比して、日本の里親制度は公的に位置づけられた児童福祉法と具体的な施策による制約の中で運用されている。政府等が制度をどのように位置づけてきたのかに着目し、戦後日本の里親制度とその政策の変遷を振り返るとともに、インタビュー調査により、制度下での里親養育の実態を分析することで、里親制度の課題を論じる。</p>		

<p>児童養護施設等への入所措置や里親委託等が解除された者の実態把握に関する全国調査 令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業</p>	<p>三菱UFJリサーチ&コンサルティング 2021.3 Web情報 https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2021/04/koukai_210430_1.pdf</p>	
<p>ケアリーバーに対する国内では初めての全国的な調査報告書。児童相談所を設置する自治体、施設職員や里親家庭、ケアリーバー自身の三者に対するアンケート調査で構成される。アンケート結果からは、ケアリーバーの生活には多くの困難や課題があるが、時間経過とともに施設等との関係性や支援が薄れていくことが見えてくる。</p>		
<p>「里親の不足」の意味するもの なぜ「里親は足りない」のか 『福祉社会学研究 15』所収</p>	<p>三輪清子著 『福祉社会学研究』（社会学研究編集委員会編 学文社 2018）p93-112 図書 中央：36905/7/15</p>	
<p>関連諸機関職員へのインタビュー調査から、里親希望者が多数いるにもかかわらず、「里親の不足」と認識されている現状を分析する。その結果、不足しているのは、「任せられる」里親登録者であり、関連機関としては支援体制が不十分な状況では、里親経験者等に「任せる」しかなく、里親委託の進展のためには、里親家庭への支援体制の整備が必要であるとする。</p>		
<p>里親家庭で生活するあなたへ 里親と実子のためのQ&A</p>	<p>山本真知子著 岩崎学術出版社 2020 図書 中央：36943/63</p>	
<p>里親家庭で生活する里子と実子がそれぞれ抱く疑問や悩みをQ&A形式で紹介する。子どもたち向けの回答だけでなく、支援者・里親に対するコメントも書かれている。里親家庭で、子どもたちがどのような悩みを抱くのかを知ることができる一冊。著者は、自身も里親家庭の実子で『里親家庭の実子を生きる』（岩崎学術出版社 2019）も著す。</p>		
<p>社会的養護制度の国際比較に関する研究 調査報告書第3報 平成26年度厚生労働省児童福祉問題調査研究事業</p>	<p>日本社会事業大学社会事業研究所 2016.7 https://www.jcsw.ac.jp/research/kenkyujigyo/roken/jidou-3.html#h26_02</p>	
<p>ドイツ、デンマーク、スウェーデン、ルーマニア、アメリカ（ワシントン州）、カナダ（オンタリオ州、ブリティッシュ・コロンビア州）、イスラエル、フィリピン、タイ、香港、韓国の12カ国（州）での社会的養護の動向や状況を調査する。里親制度についても、里親のリクルート方法や里親への支援体制（サービス/職員配置等）などの調査項目があり、海外での制度を知ることができる。</p>		
<p>「子どもたちは里親を求めています」</p>	<p>千葉県 Web情報 https://www.pref.chiba.lg.jp/jika/jidou/satooya/index.html</p>	
<p>千葉県ホームページ内の里親に関するページ。「里親とは」など制度についての解説や、「里親制度Q&A」、県が制定する関係法令など、里親に関する情報を掲載している。県では2017年に策定された国の「新しい社会的養育ビジョン」を受け、「千葉県子どもを虐待から守る基本計画」を2020年6月に策定し、その中で家庭的養育の推進に向けた取り組みを示している。令和11年には里親等委託率を40%とすることを目標に掲げ、そのための具体的な施策などを挙げる。</p>		